

阪南TV(第13回 0218) 台本

コーナー名	
コーナー①<「一周年企画！ FC 大阪会長と阪南市長 対談」 -約 27分->	
12:00 (結果) 12:00-13:36 出演) ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・吉澤会長 ・水野市長 (準備するもの) 一つ目→ 二つ目→ そして→	<p>(森下)：みなさんこんにちは。 「阪南TV(はんなんティービー)」の時間がやってきました。 本日の司会を務めます、阪南市秘書広報課の森下です。</p> <p>(石川)：そして、ナビゲーターを務めます、秘書広報課の石川 です。 どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(森下)：この番組は、「阪南市役所 防災コミュニティセンター(阪南まもる館)」から、生放送でお送りしています。</p> <p>画像1 フリップ 画像を見ながら</p> <p>(石川)：本日のコンテンツは、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【フリップ】</p> <p>1 一周年企画！ FC 大阪会長と阪南市長 対談 ～この一年を振り返って～ 2 学校給食の取組 3 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>★ご案内★</p> <p>・市役所・パソコン等での確定申告の提出について ・はんなん日中サロン ～レンズを通して見続けて来た 上海の魅力～ ←中止 ・3/14(土) ボランティア・市民活動フェスティバル ←中止</p> <p style="text-align: right;">です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">※放送終了後、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、上記二つのイベントは中止となりました。ご了承ください。</p> </div> <p>(森下)：石川さん、阪南TVが始まって1年です。 本日もどんな魅力をお届けできるか、楽しみです。</p> <p>(石川)：はい。最後まで、どうぞお楽しみください。</p> <p>(森下)：本日、最初のコーナーです。</p>

昨年2月15日、FC大阪様と阪南市は、「SDGs推進に係る包括連携・協力に関する協定」を結び、地域の活性化や課題の解決、スポーツの振興や健康増進、そしてシティプロモーションに関することについて、お互いに連携し協働しています。

この阪南TVもFC大阪様のご協力により、放送を続けています。

本日は、一般社団法人FC大阪スポーツクラブ会長の吉澤正登様をお招きして、阪南市長の水野とご一緒にお話を伺いたいと思います。

(森下)：吉澤会長、水野市長、よろしくお願いします。

(吉澤会長)：お願いします。

(水野市長)：お願いします。

<拍手> (全員で拍手します)

説明したいこと

(森下)：それでは石川さん、早速、対談のテーマを教えてくださいませんか。

(石川)：はい、フリップをご覧ください。

フリップ① 本日の対談コンテンツ 開始

(石川)：まず一つ目、「この一年を振り返って」、
二つ目、「SDGs推進に係るこれまでの取組について」です。

フリップ① 本日の対談コンテンツ 終了

(森下)：はじめのテーマですが、この「一年を振り返って」みて、水野市長はどのようにお感じですか。

(水野市長)：フリートーク①

(吉澤会長)：フリートーク①に対するコメント

(森下)：(何かあれば)アドリブでお願いします。

(森下)：吉澤会長はいかがでしょう。

(吉澤会長)：フリートーク②

(水野市長)：フリートーク②に対するコメント

(森下)：(何かあれば)アドリブでお願いします。

(森下)：ありがとうございます。

続いてのテーマ「SDGs推進に係るこれまでの取組について」に、
移らせていただきます。

この一年、職員も試行錯誤しながら「SDGs」に取り組んでまいりました。

吉澤会長が、阪南市との連携する中で、特に印象に残っていることは
どのようなことでしょうか。

(吉澤会長)：フリートーク③

(水野市長)：何かあればフリートーク③に対するコメント

(森下)：何かあればアドリブでお願いします。

(森下)：水野市長が印象に残っていることは、いかがでしょうか。

(水野市長)：フリートーク④

(吉澤会長)：何かあればフリートーク④に対するコメント

(森下)：何かあればアドリブでお願いします。

(森下)：ちなみに、石川さんは、どんなことが印象に残っていますか。

(石川)：私はですね、夏にFC大阪さんがプライベートで阪南市の海に泳ぎに来て、その後に阪南市内の魅力を知ってもらうために観光名所を巡ったんですが、その時に、FC大阪の小谷さんが高額な地元産品を購入してくれましたよ。

感想を聴きたいですね。会長、美味しいって言ってました？

(吉澤会長)：フリートーク⑤

(石川)：アドリブでお願いします。

(森下)：（何かあれば）アドリブでお願いします。

(森下)：最後に、これからも相互連携していく中で、お互いにエールを送って
いただきましょう。

まずは、吉澤会長からお願いします。

(吉澤会長)：フリートーク⑥

	<p>(水野市長)：フリートーク⑥に対するコメント</p> <p>(森下)：ありがとうございます。 続いて、水野市長お願いします。</p> <p>(水野市長)：フリートーク⑦</p> <p>(吉澤会長)：フリートーク⑦に対するコメント</p> <p>(森下)：ありがとうございました。</p> <p>吉澤会長、これからもSDGsの推進に関して、豊富なご経験を基に、引き続きご指導いただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>(森下)：本日は、「SDGs推進に係る包括連携・協力に関する協定」を締結してから一周年を記念しまして、一般社団法人FC大阪スポーツクラブ会長の吉澤正登様と水野市長の対談をお送りしました。</p> <p>お忙しいところ、ご出演いただきありがとうございました。</p> <p>(会長・市長)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	--

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（全編） 1分30秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=I2UY8IVziLw&t=15s>)

コーナー名	
コーナー②	<「学校給食の取組」 -約 26 分->
<p>12:28-12:54 (結果)</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (北ゲーター) ・河野 ・木藤 <p>(学校給食センター)</p> <p>(準備するもの)</p>	<p>(森下) : 続いてのコーナーです。 石川さん、子どもの頃、特に小学校生活での楽しみって何でしたか。</p> <p>(石川) : アドリブでお願いします。</p> <p>(森下) : 私は、やっぱり友達と遊ぶことが楽しくて、休み時間や放課後は、男子も女子も一緒になって校庭で遊んでいましたね。 それと、体が小さいうえに、学校から一番遠くに住んでいたの、4時間目が始まる頃にはお腹がペコペコで。毎日、給食の時間が待ち遠しかったですね。</p> <p>(石川) : 今回は、阪南市の学校給食の取組を紹介していただこうと思います。 学校給食センターの河野 (こうの) 所長、そして、栄養教諭の木藤 (きとう) さんです。よろしくお願いします。</p> <p>(河野・木藤) : よろしくをお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p>
	<p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下) : 河野さん、阪南市の学校給食は、いつごろ始まったのですか。</p> <p>(河野) : 本市の小学校給食は、昭和59年からスタートし、今年で36年目を迎えています。 現在も同じですが、給食センターにおいて、センター一括方式で全小学校8校分の給食を作り、各小学校へ配送しています。 中学校給食は、平成26年からスタートし、もうすぐまる6年を迎えようとしています。中学校給食は、小学校給食と違い、デリバリー方式の給食で、委託業者が給食を調理し、配送しています。</p> <p>(森下) : ふむふむ。</p> <p>(河野) : 給食センターの取組を全部お伝えすることはできないので、今日は、各小学校での食育の取組や給食センターが行っている小学校給食の取組について、お話ししたいと思います。</p> <p>(石川) : そうなんですね。それでは早速、よろしくお願いします。</p> <p>画像 1 えんどう豆のさやむき 1 開始</p>

(木藤)：阪南市では、給食の献立「えんどう豆の卵とじ」に使用するえんどう豆のさやむきを市内全小学校で実施しています。ある小学校では、えんどう豆のさやむき体験を取り入れた指導として、1年生では、さやむきをした後に、担任が「そらめくんのベッド」、「ちゃんとたべなさい」の読み聞かせを行い、2年生では、春の野菜の学習の中で、えんどう豆のさやむきをしました。両学年とも、むいた豆をすぐに茹でて味わいました。

給食に出たときも、自分たちがむいた豆だと実感し、全部食べることができました。

画像1 えんどう豆のさやむき1 終了

(石川)：野菜が苦手な子どもでも、「実際に体験学習したら食べられた！」という話、聞きますよね。

みんなと一緒に学習しながら、自分でむいたえんどう豆の味は、格別なんでしょうね。

他には、どんな取組がありますか。

(木藤)：3年生の学習では、メニューカードを使って、元気の出る朝ごはんを考えました。自由に考えてもらおうと、いろんなカードを使った盛りだくさんの朝ごはんになってしまうので、「明日の朝、自分で作る朝ごはんを考えようね」と指示をするようにしています。

画像2 おにぎらず 開始

(木藤)：この写真は、「おにぎらず」を作る様子です。

おにぎらずには、ツナとコーンをマヨネーズであえた具をはさみしました。使っている海苔は、阪南市産の海苔です。

(石川)：阪南市産の海苔、いいですね～。

画像2 おにぎらず 終了

(木藤)：また、5年生では、郷土料理を学習するという事で、担任の先生とおじいさん役、おばあさん役に分かれて、「水ナスがとれてよー」という昔話仕立てで寸劇ふうにして、学習しました。

画像3 えびなす 開始

(木藤)：地元のみなさんはよくご存知ですが、水ナスとエビを使った郷土料理「えびなす」は、「じゃこごうこ」と呼ばれ、親しまれていますが、学校給食でも登場します。

(木藤)：献立を作る私たちにとっては、郷土料理をおいしく味わってほしいと願い作っていますが、毎年の給食アンケートでは、嫌いなおかず1位と

いう結果になっています。

画像3 えびなす 終了

(森下)：実は私、「えびなす」の実物を見たことも食べたこともないんですよ。郷土料理に必ず名前が挙がるし、話には聞かされたけど、全くもって味の想像がつかないです。

画像4 親子料理講習会 開始

(木藤)：秋祭りの押し寿司と同じで、作ったものをいただくけれど、自分で作って食べるという人は少ないようですね。

この「えびなす」については、夏休みに毎年実施する親子料理講習会でも献立として取り上げ、親子で一緒に作り、食べてもらうことで郷土料理の普及、啓発を行っているところです。

画像4 親子料理講習会 終了

(石川)：各学年に合わせて、授業の中に食育の要素を取り入れ、工夫しながら児童のみなさんに理解してもらえるよう、日々、格闘されている様子が想像できますね。

ところで、先ほどのお話の中で朝ごはんのお話がありましたが、そのあたりのお話をもう少し聞かせてください。

画像5 朝ごはんづくり 開始

(木藤)：はい。本市の朝食摂取率は、昨年7月に実施した給食アンケートでは、92%でした。尾崎小学校の取組をご紹介します。

尾崎小学校では、健康的な生活習慣の確立に向け、全学年で朝食についての学習と朝ごはんづくりを実施しています。朝ごはんづくりは、低学年は火や包丁を使わずに簡単に作れるメニューで行っています。

写真は、ロールサンドづくりの様子です。ラップの上にサンドイッチ用のパンを置き、マヨネーズを塗り、スライスチーズを乗せてくると巻き、それをラップで巻くだけの簡単なものです。

児童の食物アレルギーに配慮して、卵抜きのマヨネーズを使ったり、乳アレルギーの児童がいれば、ハムにしたり、工夫しています。

画像5 朝ごはんづくり 終了

(石川)：自分で作ったら、楽しいだけではなく、朝食の摂取率をあげることにも、つながるんですね。

ところで、朝ごはんづくりの中で、児童の食物アレルギーというお話がありましたが、学校給食では、どのように対応されているんですか。

(河野)：全国的に食物アレルギーをお持ちの児童が年々、増加しているのですが、本市においても同様の傾向で、特に卵と乳成分のアレルギーを持

つ児童が多くいます。

画像6 アレルギー関連 開始

(河野)：阪南市の小学校給食は、給食時間にできるだけみんなが同じ給食を食べられるよう、マヨネーズは乳抜きのものを使用したり、卵や乳成分の入った献立の回数を制限するなど、献立を工夫してきました。

中学校給食では、食物アレルギーの種類ごとに4種類のアレルギー対応食を用意し、アレルギーを持った生徒が給食を選択できるようになっています。

画像6 アレルギー関連 終了

(河野)：ところが、小学校給食は、給食センター内の厨房施設に食物アレルギーに対応できる調理設備が整っておらず、献立の工夫を行ってきました。

(河野)：しかし、一昨年(2019)の12月に「小学校給食における食物アレルギー対応方針」が作成されたことから、本市の給食センター厨房内に食物アレルギーの食材を除去し、調理することができる設備を昨年、完成させ、12月から除去食を希望する児童に、除去食による給食を提供しています。

(石川)：確かに、給食センターの食物アレルギー対応は長い間の懸案でしたね。

阪南市の小学校給食の状況をご理解いただき、多くの方がクラウドファンディングで支えてくださったことは、大変ありがたいことです。

画像7～9 除去食①～③ 適当に切り替える

(河野)：本当にそうですね。

例えば、かきたま汁のメニューの場合、厨房内の大きな釜に卵を投入するまではいつもと同じ調理で進めますが、その後、除去食用にスープを除去食調理専用スペースに取り分け、味を調べ除去食用の保温ボトルに入れ、児童に提供しています。

また、できるだけ、食物アレルギーを持っている児童も、他の児童と同じ給食を食べてほしいという願いから、昨年4月から週に2回提供しているパンには、乳成分を使用していないパンを提供したり、児童の人気メニュー第1位のカレーについても、昨年9月から食物アレルギー原材料27品目を使用していないカレールーを使用するなど、食物アレルギー対応にできる限り行っています。

画像7～9 除去食①～③ 終了

(石川)：いろんな取組をしながら学校給食が成り立っていることが、よくわかりました。

小学校には、いろいろな委員会が活動を行っているとはよく聞きますが、給食委員会の活動はどうなっていますか。

例えば、先ほどの尾崎小学校の取組を教えてください。

(木藤)：尾崎小学校の給食委員会では、各月の給食目標の掲示や給食時間の放送などとともに、「ごちそうさま運動」と「しあわせにんじん作り」を行っています。

一つ目のごちそうさま運動には、「ひまわりの花を咲かせよう」、「ピースを合わせ大作戦」、「ごちそうさまツリー」があります。

画像10 ひまわり 開始

(木藤)：「ひまわりの花を咲かせよう」では、

1学期の大阪ウィーク期間中に、大阪の食べ物に興味を持ち、給食を残さず食べようとする意欲を高めることを目標にしました。

給食を残さず食べた児童には、花びらを1枚渡し、それを給食委員会の児童が各クラスから集め、台紙に貼ります。

給食を残さずに食べようとがんばる児童の姿が見られ、各学年、大輪のひまわりの花が咲きました。

画像10 ひまわり 終了

画像11 ピース 開始

(木藤)：「ピースを合わせ大作戦」では、

9月の給食目標の「後片付けをきちんとしよう」に合わせ、食器に食べ物の残りが付かないように、残さずきれいに食べることを目標にしました。目標を達成した児童にピースを1枚渡し、それを自分で台紙に貼り、絵を完成させます。

自分で貼ることで、意欲的に楽しく取り組むことができました。そして、ピースを貼った各クラスの台紙を合わせて、一つの絵を完成させました。

画像11 ピース 終了

画像12 ツリー 開始

(木藤)：「ごちそうさまツリー」では、

12月、食事のマナーを意識してみんなで楽しく給食を食べようと、クラスごとに目標を決めました。目標が達成できると給食委員が作った飾りをもらい、ツリーに飾ります。日を追うごとにツリーがきれいになっていくのを楽しみに取り組むことができました。

画像12 ツリー 終了

(木藤)：二つ目の「しあわせにんじん作り」は、各小学校で行っています。

本市の小学校給食には、食べると幸せになる「しあわせにんじん」が

調理の段階で入っています。

画像 13 しあわせにんじん① 適当に切り替える

画像 14 しあわせにんじん②

(木藤)：「しあわせにんじん」を見つけた児童は、「しあわせにんじんや！」と喜びます。

「おいしく給食を食べてほしい」、「にんじんが嫌いでも食べられるようになってほしい」と願いを込めて、数年前から児童の「にんじん型抜き体験」を実施しています。しあわせにんじんを食べた児童も、作った児童も幸せになる取組となりました。

画像 13～14 しあわせにんじん 終了

(石川)：給食委員会もいろいろな活動を通して、頑張っているんですね。給食センターのおもしろい企画は、何かありませんか。

(木藤)：はい。給食センターも負けていませんよ！
こちらをご覧ください。

映像 食べるんジャー (2分1秒)

(森下)：子どもたち、すごい盛り上がっていますね。

(木藤)：「三色戦隊食べるんジャー」です。
給食センターの調理員は、ふだんは調理業務に携わっているため、給食のない始業式や終業式、夏休み親子料理講習会などで、好き嫌いをなく何でも食べることや朝食の大切さについて、啓発を行っています。
赤、黄、緑の食材の役割を三色の戦隊ものに扮し、寸劇ふうに児童に伝えています。児童からは、毎回、歓声があがり、盛り上がります。

(森下)：これなら、児童も楽しめますね。
「好き嫌いはダメよ。」とか「朝ごはんは必ず食べてから。」と、言われっぱなしだと「うるさいなあ。」となっちゃうけれど、「黄色には何があったかな。」とか「体をつくるのは赤だよね。」とか、あとで友達と「食べるんジャーおもしろかったよね。」と印象に残った話になるかも知れないですね。

(石川)：これまで、学校給食の小学校や給食センターでの取組について、ご紹介いただきましたが、今後の取組や課題について、お聞かせください。

(河野)：現在、本市には、栄養教諭は2名いて、一人は下荘小学校と兼務で給食センターに、もう一人は、尾崎小学校に在籍しています。
「栄養教諭がいるから、いろいろな取組ができる」といった声を耳に

することがあります。確かにそういう側面はあろうかと思いますが、栄養教諭だけが頑張っても食育は進まないと私は考えています。時間に制約はありますが、できるだけ栄養教諭が配置されていない小学校にも機会を作って出向き、食育の大切さを教職員全体で共有していただけるよう、積極的に発信できればと思っています。児童のみなさんが、安全・安心して楽しく給食時間が過ごせるよう、またしっかり給食を全部食べてもらえるよう、日々、努力していきたいと思っています。

(森下) : これまでも学校教育課などで、子どもたちの話題を取り上げてきましたが、何より取り組んでいることを広くみなさんに知っていただくことが大切と感じます。

次の機会には、中学校給食や子ども達が考えた料理の日、献立を考える会議のことなど、ぜひご紹介をお願いしますね。

(石川) : 学校給食は、SDGs（エスディーゼイズ）の17の目標のどれに結びついていますか。

(河野) : 3番「すべての人に健康と幸福を」に当てはまります。また、そのもととなる健全な食生活について、様々な経験を通して学び育てる食育の面では、4番「質の高い教育をみんなに」につながっています。

(石川) : 本日は、学校給食センターの河野（こうの）所長と栄養教諭の木藤（きとう）さんにご案内いただきました。ありがとうございました。

(河野・木藤) : ありがとうございました。 <拍手>（全員で拍手します）

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名														
コーナー③<「新型コロナウイルス感染症」について -約5分->														
<p>12:56-13:01 (結果)</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(北ゲ-タ-) ・乾(いぬい) <p>(健康増進課)</p> <p>(準備するもの) フリップ</p>	<p>※放送時点の情報をお届けしています。</p> <p>(石川)：次のコーナーは、「新型コロナウイルス感染症」についてのご案内です。 健康増進課の乾(いぬい)さん、よろしくお願いします。</p> <p>(乾)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(石川)：新聞やニュースで次々と新しい情報が出てくるので、不安になっている方も多いと思うのですが。</td> </tr> <tr> <td>(乾)：新型コロナウイルス感染症は、現在日本国内において、発生が確認されていますが、市民の皆様におかれましては、厚生労働省や大阪府及び阪南市から発信する情報に基づき、落ち着いて行動してください。</td> </tr> <tr> <td>(森下)：では、基本的なことになりますが、どのように感染するのですか。</td> </tr> <tr> <td>(乾)：感染経路としては2種類あると考えられています。 一つは、インフルエンザや風邪と同様、「感染している人の咳やくしゃみと一緒にウイルスが放出され、それを吸い込み感染する『飛沫感染』、もう一つは、「感染している人がウイルスのついた手等で触れたものを触れて、手についたウイルスで口や鼻を触ることで感染する『接触感染』で感染します。</td> </tr> <tr> <td>(森下)：予防するには、どうしたらよいですか。</td> </tr> <tr> <td>(乾)：一般的な感染症対策を推奨しています。 保健センターが作成しているお知らせをご覧ください。</td> </tr> <tr> <td>画像1 予防しましょう 開始</td> </tr> <tr> <td>(乾)：予防のポイント(1)をご覧ください。</td> </tr> <tr> <td>(乾)：まず、手洗いです。 ドアノブ、電車のつり革などに触れた後、帰宅時、調理前後、食事前など特に手洗いをお願いします。</td> </tr> <tr> <td>画像1 予防しましょう 終了</td> </tr> <tr> <td>画像2 手洗い・マスク 開始</td> </tr> <tr> <td>(乾)：石けんなどを使い、この図のとおり、15秒以上洗ってください。</td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	(石川)：新聞やニュースで次々と新しい情報が出てくるので、不安になっている方も多いと思うのですが。	(乾)：新型コロナウイルス感染症は、現在日本国内において、発生が確認されていますが、市民の皆様におかれましては、厚生労働省や大阪府及び阪南市から発信する情報に基づき、落ち着いて行動してください。	(森下)：では、基本的なことになりますが、どのように感染するのですか。	(乾)：感染経路としては2種類あると考えられています。 一つは、インフルエンザや風邪と同様、「感染している人の咳やくしゃみと一緒にウイルスが放出され、それを吸い込み感染する『飛沫感染』、もう一つは、「感染している人がウイルスのついた手等で触れたものを触れて、手についたウイルスで口や鼻を触ることで感染する『接触感染』で感染します。	(森下)：予防するには、どうしたらよいですか。	(乾)：一般的な感染症対策を推奨しています。 保健センターが作成しているお知らせをご覧ください。	画像1 予防しましょう 開始	(乾)：予防のポイント(1)をご覧ください。	(乾)：まず、手洗いです。 ドアノブ、電車のつり革などに触れた後、帰宅時、調理前後、食事前など特に手洗いをお願いします。	画像1 予防しましょう 終了	画像2 手洗い・マスク 開始	(乾)：石けんなどを使い、この図のとおり、15秒以上洗ってください。
説明したいこと														
(石川)：新聞やニュースで次々と新しい情報が出てくるので、不安になっている方も多いと思うのですが。														
(乾)：新型コロナウイルス感染症は、現在日本国内において、発生が確認されていますが、市民の皆様におかれましては、厚生労働省や大阪府及び阪南市から発信する情報に基づき、落ち着いて行動してください。														
(森下)：では、基本的なことになりますが、どのように感染するのですか。														
(乾)：感染経路としては2種類あると考えられています。 一つは、インフルエンザや風邪と同様、「感染している人の咳やくしゃみと一緒にウイルスが放出され、それを吸い込み感染する『飛沫感染』、もう一つは、「感染している人がウイルスのついた手等で触れたものを触れて、手についたウイルスで口や鼻を触ることで感染する『接触感染』で感染します。														
(森下)：予防するには、どうしたらよいですか。														
(乾)：一般的な感染症対策を推奨しています。 保健センターが作成しているお知らせをご覧ください。														
画像1 予防しましょう 開始														
(乾)：予防のポイント(1)をご覧ください。														
(乾)：まず、手洗いです。 ドアノブ、電車のつり革などに触れた後、帰宅時、調理前後、食事前など特に手洗いをお願いします。														
画像1 予防しましょう 終了														
画像2 手洗い・マスク 開始														
(乾)：石けんなどを使い、この図のとおり、15秒以上洗ってください。														

15秒とは「ハッピーバースデートゥーユー」の歌の長さくらいです。
冬は寒いからと、指先だけササッと洗って終わりということがないように爪の間や、親指のつけね、手首を忘れないようにしましょう。

画像2 手洗い・マスク 終了

(乾)：なお、消毒用アルコールの使用も効果的です。

(乾)：次に「咳エチケットです。」予防のポイント(2)をご覧ください。

画像1 予防しましょう 再度切り替える

(乾)：咳をしている人はマスクを着用してください。

(乾)：マスクは口だけではなく、鼻も隙間ができないようにしっかり覆ってください。眼鏡をかけておられる方は特に注意してください。

画像1 予防しましょう 終了

画像2 手洗い・マスク 開始

(乾)：現在、マスクが品薄となり購入が難しくなっています。

マスクがない場合、咳やくしゃみを直接手ではなく、ティッシュ、ハンカチ、袖の内側で覆ってください。

画像2 手洗い・マスク 終了

画像1 予防しましょう 再度切り替える

(乾)：予防のポイント(3)(4)をご参照ください。

ウイルスは低い湿度で増殖します。

うがいや、加湿も大切です。

免疫力を高めるために、十分な睡眠や栄養も取りましょう。

画像1 予防しましょう 終了

(石川)：相談窓口について教えてください。

(乾)：こちらをご覧ください。

画像3 相談窓口 開始 ※右へ90度回転させる

(乾)：保健センターのほか、厚生労働省や大阪府の相談窓口を載せています。

阪南市の管轄の保健所は、泉佐野保健所になります。

心配のある方はご相談ください。

画像3 相談窓口 終了

フリップ

カメラ フリップを映しながら

(乾)：風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

*高齢者や基礎疾患のある方は、上の状態が2日程度続く場合

	<p>医療機関を受診する前に 阪南市管轄の泉佐野保健所に設置されている 「帰国者・接触者相談センター」にご連絡ください。 電話：072-462-7703（平日：9時から17時45分）です。 フリップ ここまで</p> <p>(乾)：新型コロナウイルスについて、正しく理解し、落ち着いて行動いただきますよう、お願いします。</p> <p>(石川)：SDGsの目標3番「すべての人に健康と福祉を」の目標のもと、健康増進課の乾（いぬい）さんから、緊急でご案内いただきました。 ありがとうございました。</p> <p>(乾)：ありがとうございました。 <拍手>（全員で拍手します）</p>
--	--

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名		
ご案内	＜「市役所・パソコン等での確定申告の提出について」 -約 14 分-＞	
<p>13:03-13:17 (予定)</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (MC) ・竹中 (税務課) <p>(準備するもの)</p>	<p>(石川) : 今年も確定申告の受付が始まりました。 次のコーナーの担当は、市民部税務課の竹中さんです。よろしくお願いします。</p> <p>(竹中) : よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;">＜拍 手＞ (全員で拍手します)</p>	
	<p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下) : 竹中さん、確定申告といえば税務署で行うイメージがあるのですが、市役所でも確定申告を受け付けていますよね。</p> <p>(竹中) : はい。所得税は国税に分類されるので、通常は税務署の職員でないと確定申告の受付を行うことができないのですが、阪南市では市民の皆様の利便性を良くするため、期限付きで税務署から確定申告を受け付ける許可を得たうえで、市役所で一部の確定申告ができるようにしています。今年も、閉庁日を除く3月16日(月)までの期間、市役所別棟の第2会議室で実施しています。受付時間は9時～16時となっていますが、最終日の3月16日のみ、お昼の12時までとなっておりますのでご注意ください。</p> <p>(森下) : 確定申告の「一部」とのことですが、市役所で受付できるのは具体的にはどのようなものになりますか。</p> <p>(竹中) : こちらをご覧ください。</p> <p>画像 1 市役所受付 開始</p> <p>(竹中) : 市役所で受け付けている確定申告は、給与所得と公的年金等所得の方に限られます。 通常、給与所得がある方は会社に「年末調整」を、公的年金所得がある方は年金機構に「公的年金の受給者の扶養親族等申告書」を事前に提出します。 会社や年金機構は、これらの提出された書類を基に所得金額等を税務署や市役所に報告するので、各個人では市・府民税の申告や確定申告を行う必要のない場合がほとんどです。 ですが、「年末調整」や「公的年金の受給者の扶養親族等申告書」では申告できない控除、例えば医療費控除等を追加したい場合や、年末までに退職して年末調整を行っていない場合等、確定申告を行う必要がある場合もあります。</p>	

画像 1 市役所受付 終了

(竹中)：市役所ではこういった方を対象に確定申告の受付を行っています。
次に、市役所で確定申告を受付することができない方は次のようになっています。

画像 1 再度 市役所受付 開始

(竹中)：「市役所で確定申告を受付できない方」[8つ](#)を読み上げる。

画像 1 再度 市役所受付 終了

(石川)：なるほど。市役所で受付できない方は、やはり税務署で確定申告を行う必要があるんですね。

確かに、2月半ばから来庁する方が増えるので、違う部署にいても「確定申告が始まったなあ。」と感じていますよね。

ただ、市役所も税務署も混雑していて待ち時間が長くなってしまいうイメージがありますし、平日の日中になかなか時間を取れない方もいると思うのですが、他の方法で申告はできますか。

(竹中)：郵送や税理士の方に依頼する等の方法もありますし、泉佐野と岸和田税務署が合同で休日に確定申告会場を開設している日があるとも聞いていますが、もっとお手軽に確定申告を行う方法があります。
それがこちらです。

画像 2 e-Tax チラシ 開始

(竹中)：国税庁のチラシでご案内していますように、パソコンやスマートフォンで確定申告の作成・提出を行うことができる仕組みが国税庁によって用意されていますので、こちらをご利用いただくと休日や夜間でも確定申告を提出することが可能になっています。

まず、インターネットから、国税庁ホームページ内にある「確定申告書等作成コーナー」にアクセスします。

次に、確定申告書のデータを作成します。ここでは画面の指示に従って金額等を入力するだけで申告書が作成できます。入力した金額から自動計算等の入力補助も行ってくれるので、紙で一から作成するよりもお手軽です。

最後に、作成した確定申告書を提出します。提出方法は、印刷して郵送・持参する方法と、データのままインターネットで送信する方法の2つがあります。

画像 2 e-Tax チラシ 終了

(竹中)：ただし、インターネットで送信する場合は、なりすまし等の不正を防ぐため、「マイナンバーカード」または「事前に税務署に申請して発行さ

れたID・PW」のどちらかが必要です。特にマイナンバーカードを使用する際はマイナンバーカードを読み取れる環境（カードリーダーやマイナンバーカードを読み取れる機能を持ったスマートフォン）が必要です。詳しくは国税庁ホームページをご覧くださいか、管轄の税務署にお問い合わせください。

(森下)：待ち時間もなく、いつでも自宅から申告できるなんて便利ですね。

これはぜひ活用した方が良さそうですね！

ただ、質問したいことがあっても、混みあって電話が繋がらないとか、時間外で聞くことができなくて、がっかりする経験が多いんですよね。

(竹中)：そんな方のためにも、国税庁のホームページの「確定申告期に多いお問合せ事項Q&A」、「タックスアンサー（よくある税の質問）」が用意されていますので、ぜひご利用ください。

(石川)：確定申告を行う際の注意点など、何かありますか。

(竹中)：そうですね。では、ふるさと納税のワンストップ特例制度の注意点についてご紹介いたします。こちらをご覧ください。

画像3 ワンストップ特例制度 開始

(竹中)：ワンストップ特例制度は確定申告をしなくてもふるさと納税による税額控除を受けられる便利な制度ですが、ワンストップ特例制度を受けるためには、次の3つの条件をすべて満たしている必要があります。

- ①確定申告をしない給与所得者等であること
- ②ふるさと納税を行った自治体が年間で5か所以内であること
- ③ふるさと納税を行うたびに、寄付先の自治体にワンストップ特例制度の申請を行っていること。

1つでも満たしていなければ、確定申告を行わない限り、ふるさと納税の税額控除を受けることができません。

特に注意が必要なのは1つ目の条件で、医療費控除や初めての住宅ローン控除を受けるために確定申告を行った結果、条件を満たさなくなってしまう、ワンストップ特例制度を受けることができなくなってしまう、というケースがしばしばあります。

画像3 ワンストップ特例制度 終了

(竹中)：この場合、ふるさと納税した内容も確定申告に含めていけば問題は無いのですが、含めていなかった場合はふるさと納税による税額控除を受けることができません。

税額控除を受けるためにはふるさと納税した内容を後から追加申告す

る必要があり、二度手間になってしまいます。

(森下)：なるほど。要するに「確定申告を行う場合は、ふるさと納税した内容も記載しておく必要がある」ということと、「6か所以上の自治体にふるさと納税をした場合も確定申告を行う必要がある」ということですね。

(竹中)：ちなみにですが、確定申告にふるさと納税した内容を記載する際は寄付先の自治体が発行した「受領証明書」が必要です。もし紛失されてしまった場合は寄付先の自治体のふるさと納税担当課にお問い合わせください。

(石川)：本日は確定申告が始まったこの時期に合わせて、税務課からご案内いただきました。
ところで、竹中さん、税務課の業務は、SDGsのどの目標に結びついていますか。

(竹中)：税務課では、地方税の税額がいくらになるかを算出し、納税していただけるよう日々業務を行っています。
地方税には市・府民税、固定資産税、軽自動車税などの種類があり、現在受け付けている申告は、このうちの市・府民税に関係しています。申告書に記載された収入金額や扶養親族の有無などの情報を基に、各個人それぞれの状況に応じて翌年度の市・府民税額を算出しています。皆さんに収めていただいた地方税は、阪南市や大阪府の様々な取組のための費用として使用されますので、税務課の業務は **SDGsのすべての目標に繋がっていく** と言えるのではないのでしょうか。

(森下)：今日も朝からたくさんの方が申告にいらしていますよね。
竹中さんも確定申告の受付を担当されるのかな。

(竹中)：はい。私も市・府民税の申告と確定申告の受付を担当していますので、もし相談ブースでお会いした時はよろしくお願いします。

(森下)：確定申告は3月16日（月）の12時までとのことですので、申告を予定されている方は、余裕をもって手続きをお願いしますね。
税務課からのご案内、ありがとうございました。

(竹中)：ありがとうございました。 **<拍手>（全員で拍手します）**

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名	
ご案内コーナー	＜「はんなん日中サロン ～レンズを通して見続けて来た 上海の魅力～」 -約 5 分->
13:18-13:29 (結果)	※はんなん日中サロンは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。
出演) ・森下 (司会) ・石川 (北ゲーター) ・岡田 (生涯学習推進室) (準備するもの)	<p>(森下)：次のご案内です。生涯学習推進室の岡田さんにお越しいただきました。よろしくお願いします。</p> <p>(岡田)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;">＜拍 手＞ (全員で拍手します)</p>
	<p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(岡田)：今日は、来月3月17日に開催する「はんなん日中サロン」のPRをさせていただきます。</p> <p>画像 1 はんなん日中サロン・チラシ 開始</p> <p>(岡田)：はんなん日中サロンは、阪南市を中心に中国との国際交流活動を展開されている「阪南市日中友好協会」さんが企画・運営をされるイベントです。不定期の開催で続けてこられました。今回は長年中国・上海の撮影を続けてこられた、写真家の本堂亜紀さんをお招きして、写真を鑑賞しながら上海の魅力についてお聞きする、スライドトークを実施することになり、教育委員会と共同開催いたします。</p> <p>画像 1 はんなん日中サロン・チラシ 終了</p> <p>(石川)：中国といえば、今、新型コロナウイルスのニュースが世界中で話題になっていますが。</p> <p>(岡田)：そうですね。感染症の拡大は大変心配なニュースなのですが、中国は近いようで、まだまだよく知られていない部分も多い国ではないでしょうか。</p> <p>(石川)：確かに面積が日本の約25倍とか、人口が14億人に達したとか、統計上のデータは知っていますが、実のところは、詳しく知らないというのが本音かも知れませんね。</p> <p>画像 2 上海・写真1 適当に切り替える</p> <p>画像 3 上海・写真2</p> <p>(岡田)：中国から来日される観光客も増え、中国に対するイメージも、みなさんそれぞれにお持ちかと思いますが、今回のスライドトークでは、20年</p>

以上に渡って上海の街や人を撮影してこられた写真家・本堂さんをお招きして、過去から現在まで、大きく変化を続けている上海について、まちの魅力などお聞きしたいと思います。

(石川)：本堂さんのプロフィールを拝見しますと、上海の観光親善大使を、長年務めていらしたり、日中友好活動を促進されるだけでなく、ご自身がモデルとしてもご活躍されているようですね。

画像4 本堂亜紀氏 開始

(岡田)：そうなんです。航空会社のイメージガールをされるなど、幅広く活動されています。

その活動の幅を活かして、様々な所から講演依頼があるようです。

また、カメラマンとモデルという両方の立場からアドバイスされる、メイクアップの講座なども依頼があるようですね。

画像4 本堂亜紀氏 終了

(森下)：幅広いご活躍ぶりですね。

最近では、まちなかやテーマパークなどで女性が大きなカメラを構えている姿をよく見かけますが、撮る側も撮られる側もわかっている方のアドバイスは、腕があがる近道かも！

女性に限らず、写真やカメラに興味のある方みなさんにも、お話を聞いていただけるチャンスですね。

(森下)：実は、先ほどの太極拳の写真、初めは影絵かと思ったの。でも、よく見ると、光のバランスでこうなるのかなぁ・・・と。

石川さんも仕事で写真撮る機会が多いと思いますが、市長のシルエット写真を撮ってみるといのはどうでしょう。

(石川)：アドリブでお願いします。

(森下)：ところで岡田さん、12月の放送でご案内いただいた「日本語発表会と多文化交流会」にも参加させていただきましたが、阪南市にもたくさんの外国人の方がお住まいで、学校や仕事に通っている方もいれば、研修や留学で日本へ来て、阪南市や近隣のまちで頑張っている方たち、そして、その外国人の方たちを支えている市民のみなさんが多いことを実感しました。

国際交流のことを、もっともっと知りたいですね。

(岡田)：そうですね。次は、活動されているみなさんをぜひ、ご案内していきましょう。

(石川)：では岡田さん、この催しがめざすところは、SDGs（エスディージーズ）の目標でいうと何に結びつきますか。

(岡田)：今回は市民団体との共同開催ですので、SDGs（エスディージーズ）の17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に結びつくかと思いますが、日本以外の国のことを理解し交流を進めるという点では、その多くの目標につながっていくことになりそうですね。
開催日時は3月17日火曜日、午後2時から。会場はサラダホール・小ホールです。
ぜひ、多くの方にお越しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(森下)：ちょうど来月の第3火曜日、阪南TVが終わった後ですね。
いろいろな魅力に出会えるひとときだと思います。
みなさんも、写真家の本堂亜紀さんのスライドトークをぜひお聞きになりませんか。
阪南市教育委員会の生涯学習推進室から、はんなん日中サロンについてご案内でした。岡田さん、ありがとうございました。

(岡田)：ありがとうございました。 <拍手>（全員で拍手します）

カメラ森下と石川を映す。

CMなし

コーナー名	
ご案内コーナー	＜3/14（土）ボランティア・市民活動フェスティバル＞-約4分 「はなていが生まれ変わりました！」-約3分+ラスト->
<p>13:29-13:33 -13:36 (結果)</p> <p>出演) ・森下(司会) ・石川(北ゲーター) ・はなてい</p> <p>(準備するもの) ポスター 数枚 机に貼る</p>	<p>※ボランティア・市民活動フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。</p> <p>カメラ森下と石川に寄る。ポスターも映す。</p> <p>(森下)：私から、もうひとつご案内です。 こちらにポスターを掲示していますが、毎年3月に地域交流館で開催されている「ボランティア・市民活動フェスティバル」。 今年は3月14日(土)の午前9:30から阪南市の地域交流館で開催されます。</p> <p>画像1 ボラフェスのチラシ裏 開始</p> <p>(森下)：第16回になる今年は、飯の峯中学校の吹奏楽部と泉鳥取高校のダンス部の子どもたちがオープニングを飾ってくれます。 催しものがチラシいっぱいに書かれています。色々な活動団体が体験コーナーや模擬店などを出す予定です。 石川さん、この一年、まちなかカフェやイベントでお会いした団体さんもたくさん参加されていますね。</p> <p>画像1 ボラフェスのチラシ裏 終了</p> <p>(石川)：本当にそうですね。大人だけでなく、子どもたちのパフォーマンスもあって、みんなで楽しめそうですね。 それに右上のエココーナー。プルタブやペットボトルキャップなら、1個からでもボランティアに参加できますよ。</p> <p>画像2 ボラフェスのチラシ表 右下に</p> <p>(森下)：気軽に参加できるのがいいですね。 ステージやパネル展示など、どのような活動をしているのか知ることでもできそうです。市民活動やボランティアに興味をお持ちの方、模擬店やバザーが楽しみの方も、みなさん、ぜひ、お越しください。 3月14日(土)朝9:30から、地域交流館で開催されます「第16回ボランティア・市民活動フェスティバルのご案内でした。</p> <p>はなてい 不意に入ってくる。</p> <p>(石川)：あれ、「はなてい」、どうしたの？</p> <p>石川 はなていの横に寄り、はなていとコソコソ話す感じで</p> <p>(石川)：うん、うん、 あ、「はなてい」を紹介するのを忘れてた。 はなてい、ごめんね。</p>

(石川) : はい、阪南市のイメージキャラクター「はなてい」が生まれ変わりました！

<拍手> (全員で拍手します)

説明したいこと

(石川) : 「はなてい」を生まれ変わらせて阪南市をもっともっと元気にしたい！との思いから、昨年3月に、ガバメントクラウドファンディングで、ご寄附を募り、この放送でも、お願いをさせていただきました。

みなさんの温かい応援のおかげで、何と、117万8千円ものご寄附をいただきました。

本当にありがとうございました。

二代目となる「はなてい」、初代と少し違ってしています。

違いが判りますか？

(森下) : お顔の表情は一緒ですね。

小回りが利くようになったと聞いたんだけど、スキップできそうじゃないし。手足が伸びた感じじゃないし、見た目の大きさは変わっていないような・・・

(石川) : アドリブでお願いします。

イベントなどにお出かけしますので、確かめに、会いに来てくださいね。

はなてい 石川に合わせて動く

カメラ はなていも一緒に映す

(石川) : 次回の放送は 3月17日(火) 正午 の予定です。

<まとめ>

(森下) : 今流れている番組は放送終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。

本日も長時間視聴いただきありがとうございました。

それでは みなさん さよーならー